

ポトマック通信

2018年(平成30年)夏号

編集者・発行人
ワイルス蓉子(Yoko Wiles),
Silver Spring, Maryland, USA

~~~~~

慰安婦問題を取り上げ続ける  
 在米韓国人団体  
 彼らに史実を曲げさせてはならない

5月25日にニュージャージー州フォートリーで行われた慰安婦像除幕式の様子が「なでしこアクション」からメールで送られてきた。「なでしこアクション」は韓国政府と韓国人による慰安婦問題の不当な言いがかりを正そうと日本で立ち上げた非営利団体である。この問題を取り上げるのに相当な勇気を要する。メリーランド州はここ10年の間に、韓国人の移住者が増

えて、日系人より多くなった。州知事夫人も韓国人である。私は警備の厳しいリタイアメント・コミュニティに住んでいるから「慰安婦問題」について取り上げられるが、以前のようにポトマックの一軒家に住んでいたら、とても取り上げる勇気はなかったと思う。以下は「なでしこアクション」から送られてきた除幕式の様子である。

「アメリカ東部時間5月23日18時から19時まで、ニュージャージー州フォート・リー市のコンステイチューション公園において、200人ほどの韓国系アメリカ人が集まり、慰安婦碑の除幕式が行われました。韓国のメディアからはKBSなど大勢の報道関係者が来て、日本からは産経新聞、読売新聞、共同通信社、NY生活、フジテレビが取材に来ていました。

初めにフォートリー市長の挨拶から始まり、この碑の立案グループであるフォートリー高校の韓国系アメリカ人の高校生グループの詩の朗読や、フィリピン系アメリカ人弁護士の挨拶がありました。この女性弁護士の挨拶は”自分は5年前に慰安婦について調べ、14歳や17歳の少女が何度も何度もレイプされた”など、日本軍の名前もだし、性奴隸という言葉を使い、日本を卑しめるスピーチでした。

(編集者注：この女性は第2次世界大戦後70年も経っているのに、どういう資料で調べたのであろうか。資料の出典を明らかにすべきであろう。)

式典にはベトナム戦争に参加した韓国退役軍人が10人ほど招かれていました。韓国兵士たちがベトナム女性たを強姦したり虐殺をしたりしました。その結果生まれた3万5000人の“ライダイハン”の存在

に封をして、この式典で彼らは日本兵士を糾弾する資格があるのでしょうか？（中略）

また主催者側は、中国、台湾、マレーシア、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムの国旗のバナーを立て、あたかも韓国を含むアジア各国で、日本軍による犯罪が行われたように演出していました。（中略）

このフォートリー市においては、市民の30%以上が韓国人という数と資金と組織力に完全に負けました。しかし、これがアメリカ各地にひろがり、韓国人による捏造された歴史が益々広まっていくことを懸念しています。アメリカの学校教育の中にも、こうした韓国によって捏造された歴史があたかも真実として、アメリカ人の子供たちに着実に教え始められています。」

これらの韓国系の団体が、ベトナム戦争中に韓国兵士が行った残虐行為には全く目をつぶって、「日帝の兵士によって強姦された慰安婦の像を全米各地に建て、アメリカの歴史教科書に記述せよ」と言いまわっている厚顔無恥には、全く空いた口がふさがらない。ことに、戦後アメリカに親に連れられて移住してきた韓国人の子弟が、この運動の中核になっているのには、彼らの意図が「日本を卑しめたい」ということにあるのは明白である。慰安婦は強制連行ではなかったが、日本がすでに10億円を2回も払っていることには、彼らは決して触れない。70年前までの日韓両国には公娼制度が認められており、貧家に生まれた娘たちは家族の犠牲になって娼家に売られた当時の社会状況も完全に無視している。一方的に日本を糾弾する若い在米韓国人の

若者たち、ことに女性たちの自国の歴史には全く無知なには驚くほかない。

アメリカに住む80-90代の韓国人男性のなかにも、73年前までの朝鮮には公娼制度があって、“カルポチフ”、“スルポチフ”と呼べれる飲み屋で、公然と売春が行われていたことを指摘し、どうして日本人はそれに対して何も言わないのかと述べている人がいる。子供のころに親に連れられてアメリカに移住しアメリカで教育をうけ、現在各州の公職についている韓国女性たちに、かつて日韓両国ともに女性の社会的地位が低かったこと、ことに貧困層に生まれた女性は、家族の犠牲になるのが当然という風潮があったこと、そういう当時の女性の社会的地位が不当に低かったこと等、自国の女性史をもっと勉強していただきたいということである。そうでなければ、慰安婦問題は語れない。歴史的事実を全く無視して、ひたすら日帝の仕業とアメリカ中で言いまわっている彼女たちの行為こそ、高学歴の女性とは思えない悪辣で無知な申し立てであると思う。

以前にも書いたが、私の長女夫婦は子供ができなくて、国際養子機関を通じて韓国から女の子（当時5歳）と大阪から在日韓国女性から生まれた男の子（当時3歳）を養子にもらった。ソウル・オリンピック前までの韓国は、積極的に孤児を国際養子（アメリカ）に送っていたのである。長女夫婦が養子にもらった子供たちは大学を卒業し、それぞれ良い伴侶に巡り合い、子供にも恵まれて幸せな家庭を築いている。2-3年前に、ある日突然、養女にもらった女の子に「おばあちゃん、どうして日本人は韓国人

をいじめたの」と言われて呆然とした。「友達が言っていたわよ。日本人は韓国人をいじめたんだって。日本人のおばあちゃんに聞いてごらん。日本人なんか信用しちゃだめよ」と、言われたとのことである。私は本当に胸がつぶれる思いがした。私も夫も、韓国人の孫たちを本当に可愛がつてきた。毎年、クリスマスに訪れてくるのを、どんなに楽しみにしていたことか。こういう心ないことを、70年たっても言いまわる在米韓国人の若い世代の人たちに対して、本当に口惜しい気持ちで一杯になった。自分たちのアメリカにおける地位を高めるために、今更のように日本人を糾弾し、一方的被害者のように言いまわっている在米韓国人の若い世代の人たちの卑怯さには呆れるばかりである。

そして5月13日から18日間日本を訪問した際に読んだ5月25日の産経新聞に掲載された「ベトナム戦争中、韓国軍による虐殺が50年後も隠蔽されていると記した碑文は石板で覆われた」という一面にわたる記事を読んで唖然とした。アメリカ中で、「ホロコーストに匹敵する日本軍の韓国女性に対する暴虐事件」と、慰安婦像を公共の場に建てろと言いまわっている韓国系団体が、自国の軍隊が行ったことについては、完全に顙かむりを続いているのである。

5月25日の産経新聞の8面一杯に「韓国軍による虐殺が50年後も隠蔽されている」と題する記事が掲載された。この記事によると、「ベトナム戦争中の1968年、米軍部隊が当時の南ベトナムのソンミ村で住民500人以上を殺害したことは、よく知られている。一方で、同じ時期に韓国軍

部隊による住民虐殺事件があったことは、あまり報じられていない。事件から50年たった今年3月、現地ではベトナム政府要人や元米兵ら約1000人が米軍による被害者の追悼式典を開いた。しかし、韓国軍が起こした事件については、歴史の“隠蔽”が続いているとのことである。以下は韓国兵士によるベトナム人殺りくを暴いた記事である。

「ベトナム中部クアンナム省ハミ村は、水田が広がるのどかな集落だ。路地を進むとテニスコート2面分ほどの慰靈施設に着いた。石碑には1968年2月25日、ここで亡くなった村民135人の名前が刻まれている。南ベトナム政府に協力して参戦したいた韓国海兵隊の青龍部隊に殺害された住民たちだ。この虐殺は、現地を1999年に訪れた韓国人研究者により知られるようになり、慰靈施設は韓国の民間団体と同村が翌年2000年に建てた。だが慰靈施設のどこにも、虐殺の記述はおろか名称もない。」

2000年に行われた完成式典に参加した退役韓国軍人が、碑文の修正・削除を求めた。村民は反発したが、韓国側は外交ルートで圧力をかけてきた。村民に抵抗する力はなく、仕方なく石板で碑文を覆って隠蔽することにしたとのことである。韓国政府はベトコン掃討作戦の一環だったと主張するが、生存者の73歳の男性は、「村にベトコンなどいたわけがない。計画的な住民虐殺だった」と語っている。虐殺の翌日、韓国兵が戻り、戦車などで遺体や虐殺の後を隠してしまい、遺体が埋葬された場所すらも今では分からぬ。碑文にはそのことも書かれてあったが、韓国政府の抗議によって消されてしまった。

ところで、6月9日の「週刊NY生活」に、なでしこアクション代表の山本優美子氏の「二つのメモリアル 南軍英雄の記念彫刻と慰安婦像」と題する意見広告が掲載された。これによると、ジョージア州アトランタのストーン・マウンテン公園に、巨大な岩山に刻まれた南北戦争の南部連合の有名な記念彫刻がある。世界一高いと言われるこの彫刻には、ジェファーソン・デーヴィス、ロバート・リード、ストーンウォール・ジャクソンの3人の英雄が刻まれている。デーヴィス氏は1861年から65年まで、南部連合の大統領だった。南部は戦争に負けたが、21年後の1886年、デーヴィス氏はミシシッピー州で後世に残る有名な演説をしている。「先の戦争に負けたからと言って、我々は北軍を恨んではいけません。また決して南軍が悪かったと子供たちに教えてはいけません。なぜならば、我々の大義は正しかったからです。」

そして、アトランタの北西部にあるもう一つの公園、ブラックバーン公園には昨年、慰安婦像が建てられた。山本氏は桜まつりの時にこの公園を訪れられた。彼女がこの公園を訪ねたとき、週末を楽しむ家族連れや若い人たちが通りかかり、碑文を読んでいたとのことである。

「碑文にはこういうことが書いてあります。『日本帝国陸軍に奴隸にされた慰安婦、推定数10万人の20世紀最大の人身売買の一つです。慰安婦はアジア太平洋の少なくとも13カ国の出身で、主に韓国人です。ほとんどは第二次大戦中に殺されました。拉致されたのは平均16歳の少女たちです。』」

これらの記述を読んで、山本氏は唖然となさった。彼女はさらに以下のように述べていらっしゃる。

「日本は戦争に負けはしましたが、国のために命をかけて戦った先人たちの名誉は守るべきです。ところが、現実はどうでしょうか。ねつ造話を基にした記念碑が海外に建てられ、日本の歴史が歪められて世界に広まっています。次の世代に何を伝えるか、その責任は今を生きる私たちにあるのです。今こそ私たちが声を挙げなくてはなりません。」

まさにおっしゃる通りである。元慰安婦のお婆さんたちの時系列に合わない捏造話を、国連の人権問題委員会のような公の場で語らせ、世界の国々にあの忌まわしい慰安婦像を建てようとする国の品位を問いたい。こういう国の為政者とは、とても話合うことは無理であろう。彼らたちは「慰安婦」を利用して、隣国を卑しめ、お金を取り続ける手段としているからである。そして、そう言われても仕方がないような韓国挺対協の活動ぶりである。

挺対協とは「韓国挺身隊問題対策協議会」の略である。この団体は反日勢力の急先鋒で、1990年代初めに、「慰安婦問題」解決のために組織された韓国の民間団体である。ソウルの日本大使館前で毎週行う「水曜デモ」が1000回を超えたことを記念に「慰安婦像」を日本大使館の目の前に設置した。そして、日本政府の謝罪や反省、補償が十分でないと考えから、元慰安婦にたいして、日本の「女性のためのアジア平和国民基金」からの償い金や、村山総理からの「お詫びの手紙」の受け取りを拒否せたり、露骨な嫌がらせをしたりした。7月1

3日の韓国紙「ハンギョレ」によれば、挺対協が被害者の意思を無視したまま、アジア女性基金を拒否するなど問題の解決の妨げになっていると懸念を示しているとのことである。

日本が「アジア女性基金」を設立して慰安婦問題の解決に向けて努力した1995年、韓国政府は「これまでの被害者の要求がある程度反映された誠意ある措置である」と述べていた。しかし、挺対協の横やりを受け徐々に態度を曖昧にしていき、韓国政府も最後には「被害者たちが納得する措置を日本政府はとってほしい」と評価を一変させてしまった。韓国政財界に多くの人脈を持ち、国民の支持を得ている挺対協の主張に、政府もマスコミも従うほかなく、妨害工作が幅を利かせている。挺対協は、歴史的事実を全く無視して、一方的に日本を卑しめ、金をとり続けようとする団体と言われても仕方がないような態度をとり続けている。

尹美香（ウン・ミヒン）挺対協代表は1964年10月23日、慶州南道・南海郡生まれた。韓神大学卒業後、梨花女子大学大学院キリスト教学科終了、同大学の社会福祉大学院で修士号を取得。1992年の韓国挺身隊問題対策協議会の発足当時に幹事として参加。現在は常任代表をつとめ、ソウルの日本大使館前で、水曜デモを開催している。著書の「20年間の水曜日」という題の著書は裏付ける資料的証拠もないまま元慰安婦女性の証言が事実として書かれてある。2012年に渡米して、国連人権理事会で日本軍慰安婦問題を提起することを要求する要請書を手渡している。19

93年に夫と彼の妹がスパイ事件で摘発され有罪となった。韓国の治安当局は、尹代表の近親者が北朝鮮のスパイであることと、挺対協の活動との関連に注目し、動静を注視しているとのことである。この尹代表の経歴を見ても、挺対協の活動が正しい歴史的事実に基づいて行われているとは思えないし、北朝鮮と緊密な関係をもっているように思われる。まさに「慰安婦」を使って日本を叩き、金を出させる手段に利用していることが裏付けされるような事実である。

武藤前駐韓日本大使は、「韓国財政界に多くの人脈を持ち、国民の支持を得ている挺対協の主張には政府もマスコミも従うほかなく、妨害工作が幅を利かせている。私が大使に赴任した2010年、54人の元慰安婦が秘密裏に『償い金』を受け取っていたことを知った。挺対協が受け取りを拒否させなかつたら、ほとんどの人が受け取り問題は解決し安らかな老後を送っていたことだろう。日本が一方的に非難される現状を開拓しなければ、日韓関係は正常に戻らないと考え、私は大使としての責任において、あえてその事実に言及した。慰安婦問題で和解の道を探るとすれば、事実関係を正確に理解し、それを踏まえた取り組みを始める以外にないと考えたからだ。」

（下線は編集者による。）まさに仰せの通りであるが、韓国政府や反日勢力の有識者たちが事実に目をつぶっている限り、問題は取り上げ続けられる。そして、韓国政府が事実関係を無視して、一部の反日政治家、反日マスコミ、挺対協等の反日勢力の圧力に屈することで、火種はますます醸成される。1964年生まれで、韓国の方的な

対日観と反日教育を受けた女性に、どうして公正な対日観が生まれようか。尹挺対協代表のように、戦後生まれの筋金入り反日女性がいる限り、慰安婦問題は取り上げ続けられるであろう。

私は結婚前に、ワシントン市内のアパートに住んでいた。そこには、一人の韓国青年も住んでいた。彼はソウルのある大学の助教授で、2年間の休暇を取ってアメリカの大学で勉強しているとのことだった。当時、ワシントン市内には日本のレストランが一軒しかなく、韓国料理のレストランもなかった。彼を夕食に招くと、とても喜んで私のつたない手料理を美味しいと喜んで食べていた。彼は世界の植民地の歴史を勉強しているとのことだった。「世界のこと、アフリカや中近東で、欧米の国の植民地になったところの歴史を調べてみると、厳しい愚民政策をとっているのが分かりました。ほんの一握りのエリートを本国に送り勉強させ、植民地を統治させる。宗主国は植民地に愚民政策を施して、植民地の富だけをすくい上げ本国に送っている。日本の統治下の朝鮮では、少なくとも教育を振興してくれたことを、朝鮮人はもっと感謝してもよいのじゃないかと思いますよ。もっとも、韓国に帰ってこんなことを言つたら、職を失うことになるでしょう。」

日韓併合条約が調印されたのは、1910年8月22日である。そして、韓国は朝鮮総督府の統治下に置かれた。当時日本の同盟国のイギリス、アメリカ、フランス、ドイツ、中華民国などの世界の主要国はこれを認めたのである。日本統治時代の朝鮮における社会政策を調べてみると、これまで存在しなかった教育制度や戸籍制度な

どの近代的な社会制度の整備が行われ、朝鮮社会の近代化に大きく寄与したことは明白である。また、経済面でも、これまで朝鮮半島にほとんど存在しなかつた鉄道、道路、上水道、電気、病院、学校、工場など、最新鋭のインフラの整備を行い、近代教育制度や医療制度の整備を進め、朝鮮半島を近代化した。しかし現在、韓国や北朝鮮では、朝鮮の資本主義の萌芽は李氏朝鮮時代に芽生えたとして、「芽生えた朝鮮の資本主義は成長する前に、日韓合併による植民地化によって1945年まで大きく抑制させられていた」というのが通説となっている。これに対してハーバード大学教授で朝鮮史が専門家のカーター・J.エッカート氏は研究の結果、李氏朝鮮時代の経済規模は日本や中国と比べて小さく、当時の商人と後の時代の資本家とのつながりがほとんど無いため、資本主義の萌芽が李氏朝鮮時代には存在していなかつたと、日韓合併後に日本の政策によって資本主義社会が生まれたと述べている。当時の商人と後の時代の資本家とのつながりがほとんどないため、資本主義の萌芽が李氏朝鮮時代には存在せず、日韓合併による政策によって生まれ、特に戦後の韓国の資本主義や工業化は、上記のような日本の朝鮮半島の近代化政策によるものと評している。韓国と北朝鮮以外では、エッカート氏と同様の意見が史実と認められている。しかし、挺対協のような団体とそれを支持する人々は、あくまでも日帝によって搾取され続けたと信じているようである。

私は朝鮮半島を汽車で2回縦断している。一回目は6歳であったから、何もわからなかつたが、それから9年後(1944年)

の15歳の時に朝鮮半島を汽車で縦断し、かつての朝鮮が大きく変貌したのが分かつた。南鮮地帯に広がる見事な稻田、すっかり近代化した大きな京城の町、朝鮮の発展ぶりに目を見張った。このように書くと、挺対協の尹美香代表をはじめ多くの韓国人から袋叩きにされるであろう。しかし、「事実は事実」である。朝鮮半島、少なくとも南半分の近代化は、所謂「日帝」によって行われたのである。「日帝」が朝鮮半島を統治する前は、朝鮮半島には小学校がわずか100校足らずしかなかった事実を、挺対協は絶対に認めようとしない。アメリカ各地の韓国系団体も絶対に認めない。ひたすら、日帝によって差別され搾取されたと、世界各地で言いまわっている。

さもありばあれ、日本が韓国を隣人として仲良く付き合っていくことが、アジアの平和のために大切なことであろう。私の韓国人の孫たちが、それを伝えていってほしいと願うものである。

~~~~~